

技術で豊かなまちづくり

平成21年1月1日

高知土木技士

No.44

(社)高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館5F TEL 825-1844]



平成20年度表彰 国土交通省 四国地方整備局 優良建設工事

施 工

ショーボンド建設 株式会社

工 事 名

平成18-19年度 長池橋補強工事

場 所

四万十市右山

現場代理人

田 渕 誠 志

土木施工管理技士会倫理綱領

会員は、国家資格者として誇りと品格を持ち、
常に自己の資質と技術の向上に努め、
社会に貢献すること。

(誇りを持とう)

1. 土木技術の国家資格者として誇りを持って行動し、日頃から技術の研鑽けんさんに励むこと。

(技術力を活かそう)

2. 技術者として自己の専門的知識及び経験をもって良質な物を作ること。

(公正な行動をしよう)

3. 携わる事業の性質から、公正・清廉たつとを尚び、広く模範となる行動をすること。

(ボランティアに参加する等、社会に貢献しよう)

4. 技術者として知識・経験を活かし、災害時等はもちろん、ふだんの生活においても、地域活動や社会奉仕に積極的に参加するよう努めること。

謹 賀 新 年

(社) 高知県土木施工管理技士会

会 長 宮 田 益 吉

明けましておめでとうございます。

皆様にとりまして希望ある輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平素より当技士会の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

景況をみますと、米国で2007年夏に表面化したサブプライム住宅ローン問題に端を発した、世界不況はさらに深刻化する恐れもあり、日本の経済活動が縮小局面に入り、その影響は日本の隅々、過疎山村も含めて既に世界的景気後退に組み込まれています。本県は景気回復の実感ないまま、県内企業への打撃で県税収の落ち込みは大きく、さらに減収見通しの予測もあります。

この中で、昭和55年4月設立の当技士会は30年を迎える節目の年となりました。

昨今の建設業界を取り巻く状況は、ダンピングをはじめ、多様な総合評価方式の拡充、鋼材・燃料価格の高騰、業況悪化による雇用問題など、多面的な課題に対応できるよう、建設業は一所懸命改革に努めているところであります。

また、昨年は本県への台風被害少なく人々の暮らしに深刻な影響はなかったものの、地球温暖化がもたらす気候変動は、自然災害を増加・巨大化させると言われており、地球環境の更なる悪化が危惧されるところであります。誰もが安心して生活できる社会基盤を着実に整備していくことが求められるなか、昨年6月に「岩手・宮城内陸地震」が起こり、大きな被害をもたらしたことは「南海地震への備え」に取り組む本県で暮らしていることを改めて認識させられたことと存じます。

土木技術者の皆様は、人々の生命と財産を守り、安全で快適な生活を支える社会基盤整備の直接の担い手であり、今後も重要な役割を果たしていくことに変わりはありません。

しかし、若年層の土木離れ、建設業離れの傾向が見て取れる現状をみますと、ものづくりに対する技術者の真摯な姿勢や技術開発、環境対策などに積極的に取り組む「建設業の真の姿」を多くの方々に知っていただくことが大切であると考えます。

建設業に対する理解を深めていただき、イメージアップや信頼回復、ひいては、土木の持つ魅力とやり甲斐を認識してもらえよう、30年前の初心に戻り、会員の皆様のご協力のもと、各種講習会や現場・施設見学会の開催など、土木施工管理／CPDSを一層拡充し、土木技術者の技術力の維持・向上を支援する事業に全力をあげて取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、各関係団体のご指導とご支援を賜りますことをお願い申しあげ、会員企業のますますのご発展、会員皆様方のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



高知県土木部長 石井 一生

新年あけまして おめでとうございます。

高知県土木施工管理技士会の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

日ごろは土木行政をはじめ県行政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は世界的な金融危機等が発生し、大変な経済状況となりました。高知県も相変わらず厳しい状況が続いておりますが、土木部の予算においては、これまでの予算より大幅な増加は見込めないものの、20年度予算と同程度の確保が予測され、これから少しは明るい展望が見込まれるのではないかと期待しているところでございます。

土木部におきましては、知事が県民に約束した県政浮揚のための基本政策である「インフラの充実と有効活用」について、中心となって担っていかねばなりません。

そのため、これまでの取り組みを継承しながら、新たな課題にも対応した重点的な項目である経営・組織改革、県民との協働の推進と地場資源の活用、公共事業の品質の確保、県民の安全・安心の確保に向けた地域防災力の充実に図り、職員の能力と組織力の向上に取り組み、県政浮揚のための土木行政の推進を図ってまいらねばなりません。

この推進にあたっては、県民の皆様と行政が一体となり、より良い社会資本整備を進めていくための協働を発展させることもさることながら、日頃から技術力向上と地域に貢献されている、土木施工管理技士会の役割は、これまでに増して重要となるものと思っております。

この意味からも、今後とも貴会のご支援を頂ながら、県民の安全・安心を中心とする社会資本の整備に努めて参りたいと考えております。

最後に、本年も今まで以上のご協力を会員のみなさまから賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、高知県土木施工管理技士会のますますのご発展と、会員の皆様にとって希望ある、より良き年でありますよう、ご祈念申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。

* 技術コーナー *

直轄砂防事業における 新技術活用事例について

四国山地砂防事務所

吉野川砂防出張所長 宮地 正彦

四国山地砂防事務所では、吉野川中・上流域及び重信川における直轄砂防、地すべり対策事業を実施しています。その中で、吉野川砂防出張所では、吉野川上流区域を担当しており、「安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり」を目標に、砂防施設等の整備工事を進めています。ここでは、最近の直轄砂防工事における高知県産間伐材の利活用への取り組みと新技術の活用事例について紹介いたします。



① 間伐材利活用（木製残存型枠採用事例）

採用新技術名称

材 料 名	製 造 メ ー カ ー
間伐フォームレス	共生機構 株式会社
O&D ウッド残存型枠	溝渕林産興業 株式会社
かんばつくん	道路施設 株式会社

木製残存型枠の採用目的

木製残存型枠とは、間伐材をコンクリート打設の際のせき板にすると共に、擁壁やダムコンクリート躯体の木彫壁面材として残存させる型枠です。森林の育成を図る過程で発生した間伐材で壁面を覆う事により、周辺自然環境に融合させ、景観に配慮すると共に、間伐材の利用促進を図る事を目的としています。

各材料別の特徴及び施工状況

【間伐フォームレス】 工事名 平成19年度 坂本谷堰堤工事
施工者 嶺北建設業協同組合

- ・施工性の良さ：型枠取り外し作業の割愛・作業足場は不要・熟練工は必要としません。
- ・組立作業を壁面内側から安全に行える・部材は軽量、短小だから取り扱い易く、工期短縮に直結します。
- ・環境の保全：コンクリートの前面が間伐材で覆われ周辺景観と融合・間伐材の利用促進を図り環境保全に寄与できます。
- ・間伐材を切り揃えただけで、そのまま使用できます。
- ・間伐材以外にも、古枕木なども利用でき、資源のリサイクルが図れます。
- ・砂防ダム、重力式擁壁や落石防護柵の基礎などにも採用し、景観に配慮できます。



組立状況



施工完了（坂本谷）

【O&D ウッド残存型枠】 工事名 平成20年度 下田谷堰堤工事
 施工者 ミタニ建設工業 株式会社

- ・高知県認定リサイクル製品です。
- ・積極的に間伐材を利用することで、日本の林業・山村の活性化に繋げ、整備された森林環境を維持継続することに貢献できます。
- ・計画的な伐採を行い、いかに間伐材を有効利用していくかが、二酸化炭素の放出削減になり、地球環境「温暖化防止」に貢献できます。
- ・現地加工を伴わない、パネル形式の製品です。



組立完了状況



組立完了状況

【かんばつくん】 工事名 平成19年度 大川堰堤外1件工事
 平成20年度 大川堰堤外1件工事
 施工者 四国開発 株式会社

- ・木の持つ温もりが、周囲の緑や風景に溶け込み、美しい景観を損なうことなく、違和感を与えない仕上がりとなります。
- ・自然素材なので石材や蔦などにもなじみ人工的な色彩が緩和されます。
- ・パネルは自由自在に組み合わせることができ、色々なデザインが描けます。
- ・表面の木材を、円柱、角材、六角など自由な加工ができます。



組立作業状況



施工完了（大川堰堤）

② 補強土擁壁工の活用事例について

採用新技術名称

材 料 名	製 造 メ ー カ ー
ア デ ム	前田工織 株式会社
テンサーWウォール	共生機構 株式会社

新技術（補強土擁壁工）採用の目的

補強土擁壁工法とは、「盛土の補強土工法の1つとして、特に法面は垂直もしくは直に近く（1：0.5程度まで）、垂壁面材と補強材及び盛土材からなる土留構造物」である。

工法として、コンクリート擁壁等より経済性に優れ、施工性が高いこと、また、法面が垂直に近い構造ということ、施工範囲を極力狭くおさえられることより、適応可能な箇所にて採用しております。

各工法別の特徴及び施工状況

【アデム工法】 工事名 平成20年度 大川堰堤外1件工事
施工者 ミタニ建設工業 株式会社

- ・土との摩擦特性に優れ、盛土を強力に補強します。
- ・耐候性、耐薬品性、耐寒・耐熱性、また耐衝撃性に優れています。
- ・軟弱地盤上の構造物の荷重を分散し、盛土の不等沈下を防止します。



組立状況



組立状況



転圧状況



施工完了

【テンサーダブルウォール】 工事名 平成19年度 鈴ヶ谷堰堤工事
 施工者 藤本建設 株式会社

- ・道路擁壁はもちろんのこと、治山砂防ダムの間詰擁壁から柵工の類に至るまでのいろいろな擁壁構造物を造ることができます。
- ・切土を極力少なくし、掘削残土も出さなくて済み、緑化もできるという、自然に優しい補強土擁壁をコストミニマムで実現させようというものです。
- ・補強土壁としては最小限に壁体幅を狭くできることで、結果として掘削量や中詰土量さらには補強材の所要数量などを節減することができます。
- ・現地発生土砂を土構造物の主役として活用していることが一種の環境保全工法ともいえます。



組立状況



組立完了



転圧状況



施工完了

これまで様々な新技術を活用していますが、それぞれ目的に応じた一定の効果を確認してきているところです。今後も、更なる技術力の向上と優れた品質確保を図るために、積極的に新技術の活用に取り組んでいきたいと思えます。

＊ 会員の広場コーナー ＊

平成18－19年度 長池橋補強工事

ショーボンド建設株式会社

高知営業所 田淵 誠志

■ はじめに

本橋は国道56号線、中村市の市街近郊で、保育所、民家が隣接していました。本工事において一番に配慮したことは、その保育所、民家また、一般通行車両への影響（騒音、粉塵、通行制限）を最小限に抑え進捗させることでした。

「近隣住民に感謝してもらえる工事にしよう、公共工事に対し好印象を持ってもらおう。」それを念頭に置き工事を施工しました。



■ 工事概要

本橋は昭和47年度に建造された橋梁であり、改修計画で国道の四車線化及び中村インターチェンジ取付道との交差点に位置しています。その計画に伴い、本橋に作用する荷重条件が変更される為、橋梁の主桁増設補強（総延長54m、総重量44 t）を目的とした工事でした。

別途、耐震補強として落橋防止装置工（18基）、変位制限装置工（18基）、現場塗装（Rc－1系）、床版補修工（断面修復工、炭素繊維シート接着工）、他1橋の側道橋架設工を含む工事内容でした。

まず足場組立の際、枠組み足場を利用した防音・防塵壁を保育所側に設置し、騒音作業下での騒音レベルを監視しました。また保育園児の昼寝時間である12時30分から14時までには騒音作業を休止しました。重ねて、工事に対するイメージアップを図ろうと保育所に合意を得て園内で工事の説明を兼ねた交通安全教室を開催しました。



主桁増設はA1橋台-P1橋脚間(42.6m)桁高2.8m、下フランジ厚50mm、これを5分割して現場に搬入し、地組して張出し床版の下に架設する工事でした。(支承無し、既設主桁と連結する構造)

増設桁架設に先立ち、ベントを架設しますが、当初設計のままの施工では問題がありました。一つはベント設置により作業ヤードが占領されラフタークレーン等の車両が入りできなくなり、架設から解体までラフタークレーンを作業ヤードに据付けた状態となることです。

また、通行規制での路上からの取り込みは大型のラフタークレーンが必要となります。二つ目は橋台部にコンクリート基礎が必要となりアンカー定着用の削孔が削岩機では騒音、粉塵を発生させてしまう為、コアドリルによる削孔が必要になります。

これらのことはすべて工事費の増加となります。コスト低減を図る為、社内で応力照査は当然のことながら施工性、安全性の検討を綿密に行い、従来の組立ベントに替え既設主桁部からの吊り下げ方式を施主に提案し、協議を行い採用して頂きました。その結果、工事コストの低減はもとより、一般通行車両への影響が無くなりました。



吊り下げ方式ベント



桁架設状況

桁架設後、新設桁の著しい揺れを確認しましたので、直ちに社内で検討を行いました。その結果、部分的に張出し床版と新設主桁も上フランジをエポキシ樹脂で合成すること及び、両端支点部に簡易な桁受け支承を設置する方法を提案し、創意工夫として実施しました。



落橋防止装置工・変位制限装置工は鋼製ブラケットでの耐震補強です。



現場塗装工では本設計のRc-1系塗装は、全面ブラストによる素地調整による塗り替え仕様で、その研掃材が硅砂となっていました。作業者の硅肺等による健康被害防止の為、また粉塵発生を抑える為に、他の研掃材と試験施工を実施し、ガーネットでのブラストに変更して作業しました。

現在、土木コスト情報でブラスト作業の標準歩掛かりとしてガーネットが計上されています。

私自身、いい判断ができたと思います。

床版補修工は足場仮設後に床版の損傷が確認できたので自主的に詳細調査を実施し、補修案を検討し、施主と協議を行った結果、コンクリート欠損部、脆弱部はポリマーセメントモルタルによる断面修復工、ひび割れ補修については炭素繊維シート接着工を施工することになりました。

中でも、一番苦労したのは現場塗装工も含め、粉塵飛散防止対策の為、ほぼ密閉された状態での施工であったことです。時期



が夏真ただ中で、吸・排気装置は設置したものの内部の暑さは作業員にとって非常にしんどかったと思います。現場には熱中症予防の為、スポーツドリンク、冷却キャップ、塩飴、梅干し、水を入れた浴び水を設置しました。作業員の皆さんには浴び水が好評でした。

別工事箇所の側道橋架設は途中追加されました。工事内容は他橋の側道橋をリサイクルで再加工し、供用されている橋に新設するものです。この工事でも長池橋と同様現場塗装があったので工期内に納められるかが心配されたのですが、天候に恵まれ無事完工できました。



■ 工事を振り返って

工事途中に園児から工事現場の絵を多数贈られ「工事のおじちゃん、ありがとう」と言われたときは、この工事に関わられて本当に良かったと思いました。

施工内容に関しては特別なことはしていないと思います。通常、当社が行っている管理、技術、ノウハウにより会社全体が一つの現場を完了させるという認識、問題が発生したとき社内一丸となって対処する姿勢が施主に認められ、今回の評価につながったものと考えます。

何より無事故、無災害で完工できたことが良かったと思います。

■ おわりに

発注者関係、地域住民、関係諸団体ならびに協力会社の皆様方のご指導とご理解・ご協力の程、深く感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

実行事報告（抜粋）

1. 1級土木技術検定試験「実地」受験準備講習会開催

平成20年度1級土木技術検定「実地」試験対策としての講習を20年9月2日～3日に、高知県教育会館「高知城ホール」で受講者63名により実施しました。

講習は記述式解答への対応力強化であり、施工経験記述指導をはじめ幅広い分野からの出題に備え、過去問題の傾向を重視した指導がなされ、合格への自信となる2日間講習でした。

（1級土木「実地」試験日 10月5日(日)、合格発表は21年1月20日(火)です。）

2. 2級土木技術検定試験「学科・実地」受験準備講習会開催

受験予定者へ合格を目指す短期集中型講習として3日間コースによる例年の実施であり、平成20年9月30日～10月2日において試験科目全般に亘る概略の知識と一応の応用能力について、重点項目に的を絞り解答のポイントを解説・指導されました。

（2級土木「学科・実地」試験日 10月26日(日)、合格発表は21年2月13日(金)です。）

3. 土木施工管理／四国4県統一テーマCPDS指定技術講習会を開く

テ ー マ	講 師
品確法の時代に求められる技術者能力	高知県土木部 建設検査課長 工学博士 夕部 雅 丈 氏
昼休み	
公共工事の適正な契約について ・単品スライド ・三者協議会 ・設計変更ガイドライン	国土交通省四国地方整備局 技術管理課 課長補佐 上 林 正 幸 氏
建設業の安全管理 ・建設現場のリスクをどう低減するか	高知労働局 労災防止指導員 労働安全コンサルタント 田 内 孝 也 氏
講習会試験…研修・講習会の効果を測定のため、テストを実施します。	

当技士会は、平成20年10月21日（火）会場を高知商工会館（高知市）で262名の土木技術者受講で、上記のテーマ・講師によるCPDS講習会を国土交通省四国地方整備局・高知県・(社)高知県建設業協会の後援、支援を得て、四国土木施工管理技士会連合会主催のもと開催いたしました。



四国4県統一テーマ CPDS指定技術講習会

4. 中国・四国土木施工管理技士会連合会「ブロック協議会」「技術交流会」開催される

土木施工管理技士の地位向上と安定化など意見交換



◀技術交流意見交換会

平成20年11月14日（金）に中国・四国土木施工管理技士会連合会では、2008年度ブロック協議会と技術交流会を岡山市のホテルオークラ岡山で開催。

当日は、国土交通省大臣官房技術調査課の森田宏氏による講演「土木工事の実施に当たって」があり、中国地方整備局より局長 藤田武彦氏、四国地方整備局の小野重充技術調整管理官、中国地区各県の土木部幹部職員などの来賓、技士会では全国土木施工管理技士会連合会より会長 小林康昭氏、中国・四国各県の会長等総勢51名が出席した。

技術交流意見交換会で提出された議題は、次の通り。

- 1. 若年技術者への技術継承について
- 2. 片務性の解消について
 - ① 作業時間の制約を受ける工事における経費の補正について
 - ② 工期延期に伴う経費の増額変更について
- 3. 継続学習制度の評価・活用について
- 4. 土木施工管理技士の地位の向上と安定化について
- 5. 2級土木施工管理技士の適正な評価について
 - ① 公共工事における主任技術者については、国家資格者に限定する。
 - ② 1級への受験資格について、2級資格取得後の実務経験年数5年を3年に短縮。

会員の皆様

新年あけまして

おめでとうございます。



会長	宮田 益吉	制度委員長	宮田 喜弘
副会長	田邊 聖	技術委員長	石建国 元
〃	安岡 健	研修委員長	谷岡 孝雄
〃	濱口 重夫	広報委員長	三谷 斉

技士会が行う研修・講習会に参加しましょう。

技士会伝言板

会員の皆さんへのご案内、ご依頼ことです。よろしくお願いいたします。

土木施工管理技士会の 監理技術者講習のご案内

★ 技士会連合会の監理技術者講習のメリット ★

- ①申込書に継続学習制度（CPDS）登録番号を記入するだけで、受講後に技士会の継続学習制度の学習履歴として登録加点されます。
- ②申込時にCPDS新規加入の方は、受講料にCPDS費用を上乗せして、CPDS登録番号記載箇所に「新規」と記入して下さい。（新規加入と履歴登録が同時にできます!!）
- ③インターネット（<http://www.ejcm.or.jp>）申込みなら写真・書類の郵送は必要ありません。

1. 受講対象者

公共工事の監理技術者となる方（現場配置前に講習を受講しておくこと。）

建設業全28業種の監理技術者が対象となります。

ただし、資格者証の「有する資格欄」に「認定」とされている方（大臣認定者）はこの講習の対象外。

2. 受講料

10,800円（テキスト代・講習修了証交付手数料、消費税含む）

インターネット申込なら受講料10,500円

3. 実施日・会場

平成21年2月7日（土） 平成21年4月11日（土） 平成21年6月20日（土）

平成21年8月29日（土） 平成21年11月7日（土） 平成22年1月16日（土）

講習会会場：高知県建設会館「4階ホール」 講習時間：午前8時50分～午後4時30分

4. 講習内容

建設工事に関する法律制度（最近の社会・経済情勢と技術者制度）

建設工事の施工管理、その他の技術上の管理

建設工事に関する最近の技術動向等

修了試験（20分） ※修了試験後、講習修了証交付

申込方法

- (1) 受講申込書
 - (2) カラー顔写真を貼った写真票
 - (3) 受講料の郵便振替払込請求書兼受領証のコピー
- ※ 申込書類・(1)～(3)を持参、または「配達記録郵便」で提出

受講申込書提出先

(社)高知県土木施工管理技士会
〒780-0870 高知市本町4丁目2-15 (TEL 088-825-1844)

国土交通省四国地方整備局からのお知らせ

〈抜粋2つ〉

1. 災害支援に係る表彰等の評価を拡充
2. 設計変更協議会の概要

土木技術者として知って損のない事例を記者発表資料より紹介いたします。

1. 災害支援に係る表彰等の評価を拡充

～地域に貢献した企業が報われる仕組み作り～

- ◆ 災害支援に係る表彰について、四国内の地方公共団体（県及び市町村）から受けた表彰状、感謝状の実績を総合評価における評価対象に追加します。
- ◆ 四国四県の知事及び土木（県土整備）部長から受けた、優良工事表彰の実績を総合評価における評価対象に追加します。
- ◆ 上記二項目の変更は、平成20年7月17日以降に公告する工事に適用します。
- 「災害支援の評価は、『四国地方整備局及び管内事務所と災害協定を締結している企業又は団体に所属し、かつ、災害復旧等に関して、国土交通大臣、四国地方整備局、又は四国内の地方公共団体から受けた表彰等を対象とする』と変更します。
 - ・災害に対して早期の復旧に寄与する企業、団体を育成・確保することは、重要な課題です。
 - ・従来から国土交通省から受けた表彰等は、評価対象としていましたが、これに加えて、**四国内の地方公共団体から受けた災害支援に係る表彰等も対象**とすることで、四国内の地方公共団体の管理する箇所での災害支援の促進に寄与することとなります。
- 「工事表彰」の評価は、『四国地方整備局の発注工事及び**四国四県の発注工事に対しての表彰実績を対象とする**』と変更します。
 - ・従来から四国地方整備局の発注工事に対しての表彰は評価対象としていましたが、これに加えて、四国四県から受けた工事表彰も評価の対象とすることで、県工事において優秀であった企業のインセンティブを付与できることとなります。
- ◆ 災害貢献した企業並びに県工事において優秀であった企業を総合評価の評価対象とすることで、地域に貢献した企業が報われる仕組みのより拡充を図ります。

＜問合せ先＞ 国土交通省 四国地方整備局 TEL：(087) 851-8061

技術開発調整官 清家 基哉 (内線3120) 技術管理課長 中山 義男 (内線3311)
 技術管理課長補佐 泉川 暢宏 (内線3314)

企業評価における表彰に係る評価の拡充

企業評価

I. 企業の施工実績

評価項目	評価基準	配点	評価点
平成17年度以降の表彰(工事に限る)	局長表彰の実績有り	10	/10
	事務所長表彰の実績有り	5	
	四国四県の知事及び土木部長又は県土整備部長の実績有り	3	
	なし又は上記以外	0	

※1：「平成17年度以降の表彰(工事に限る)」とは、四国地方整備局の発注工事及び四国四県の発注工事に対しての表彰としている。なお、「優良下請企業表彰」も対象とする。提出された1件の表彰について、上表に掲げる評価基準を満足する場合に評価点を与える。

II. 社会貢献に係る表彰

評価項目	評価基準	配点	評価点
平成17年度以降の社会貢献(災害支援、地域貢献等)に係る表彰	大臣及び局長からの表彰、感謝状の実績有り	10	/10
	事務所長からの表彰、感謝状の実績有り	5	
	四国四県から表彰、感謝状の実績有り	3	
	四国内の市町村(港湾管理者を含む)から表彰、感謝状の実績有り	1	
	なし又は上記以外	0	
	大臣及び局長からの表彰、感謝状の実績有り	10	
	事務所長からの表彰、感謝状の実績有り	5	
	四国四県から表彰の実績有り	3	
	四国内の市町村(港湾管理者を含む)から表彰の実績有り	1	
	なし又は上記以外	0	

- ※1：「災害支援」は、四国地方整備局及び管内事務所と災害協定を締結している企業又は団体に所属し、かつ、災害復旧等に関して、国土交通大臣、四国地方整備局又は四国内の地方自治体から受けた表彰、感謝状を対象とする。
- ※2：「地域貢献等」は、四国内でのボランティア活動の参加等により、国土交通大臣、四国地方整備局から受けた表彰、感謝状又は四国内の地方自治体から受けた表彰(ただし、感謝状は除く)を対象とする。
- ※3：提出された1件の表彰等について、上表に掲げる評価基準を満足する場合に評価点を与える。

● なお、表彰については会社名が入っている表彰等のみ評価の対象となります。以下参照してください。 ●

＜評価となる表彰、感謝状の宛先＞

- ① ○○建設業協会 (株)○○建設 殿
- ② (株)○○建設 殿
- ③ (株)○○建設 ○○を守る会 殿
- ④ ○○を育む会 (株)○○建設 殿

＜評価とならない表彰、感謝状の宛先＞

- ① ○○建設業協会 殿
- ② ○○を育む会 殿

2. 「設計変更推進月間」の取り組みについて

工事請負契約における設計変更のより一層の適正化・迅速化を図るべく、11月及び12月が「設計変更推進月間」に位置付けられたことを踏まえ、その取り組みの一つとして、発注者（※1）と請負者（※2）が一堂に会して設計変更に係る協議を行う『設計変更協議会』の開催について、地整内関係部局に周知徹底を行いました。

土木工事は多岐にわたる目的構造物を、多種多様な自然条件・環境条件の下で構築するという特殊性を有しており、そのため当初の計画どおりに施工出来ることは少なく、そのほとんどが設計変更を伴っているのが現状です。

しかしながら、契約図書に明示すべき条件が不明瞭であったり、また条件の変更に伴う発注者・請負者間の協議が不十分であるために、円滑な設計変更がなされていない例も見受けられます。

そのため、「直轄工事における設計変更ガイドライン（案）（H20.3）」及び「工事一時中止に係るガイドライン（案）（H20.8）」を策定し、設計変更や工事の一時中止に係る手続きの円滑化を進めてきたところですが、設計変更のより一層の円滑化と迅速化を図るため、『設計変更協議会』の適時・適切な開催を行なうものです。

※1 発注者：「監督職員」、「事務所担当副所長・課長」等

※2 請負者：「現場代理人」、「監理技術者」、「主任技術者」等

問い合わせ先

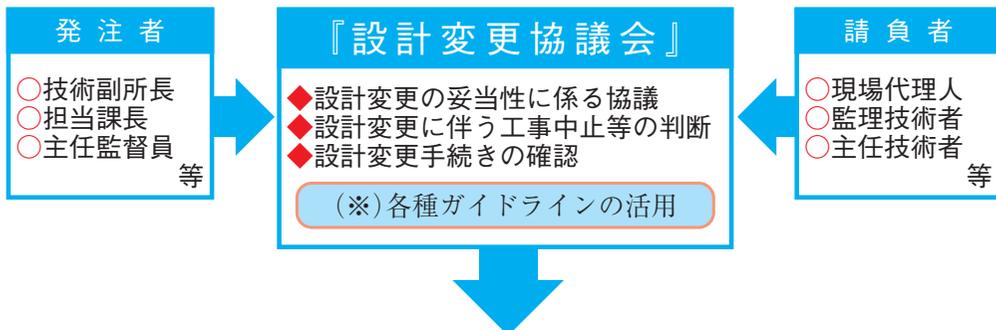
国土交通省 四国地方整備局 企画部 TEL：（087）851-8061
 技術管理課長 中山 義男 （内線3311）
 課長補佐 上林 正幸 （内線3312）

『設計変更協議会』の概要



四国地方整備局

- ◆目的：工事請負契約における設計変更手続きの、より一層の適正化・迅速化。
- ◆対象工事：原則、設計変更を伴う工事は全て対象。
- ◆開催時期：重要構造物の構造変更、請負代金額の大幅な変更、工事の一時中止（工期変更）を伴う指示・協議を行う場合など。



(※)◇直轄工事における設計変更ガイドライン（案）：平成20年3月
 ◇工事一時中止に係るガイドライン（案）：平成20年8月

平成21年度 1、2級土木施工管理技士試験と講習会のご案内

～ 土木施工管理技士をめざして～

(財)全国建設研修センターが建設業法に基づいて実施します「検定試験」、また、(社)高知県土木施工管理技士会が行います「受験準備講習会」を次のとおり予定しています。

なお、申込み用紙(願書)の販売方法、講習会への受講申し込み方法については、決定次第会員各位の所属会社あてにご案内文書を発送いたします。

－ 実 施 予 定 －

◎ 申込用紙の販売

1級土木・2級土木 「学科・実地試験」
平成21年3月16日(月)～4月15日(水) 1部 600円です。

◎ 検定試験

1級(学科)	申込受付 試験日	平成21年4月1日(水)～4月15日(水) 平成21年7月5日(日)
1級(実地)	申込受付 試験日	平成20年度学科試験合格者・学科試験免除者 平成21年4月1日(水)～4月15日(水) 平成21年度学科試験合格者 平成21年8月中旬～9月上旬(予定) 平成21年10月4日(日)
2級 (学科・実地同日)	申込受付 試験日	平成21年4月1日(水)～4月15日(水) 平成21年10月25日(日)



◎ 受験準備講習会(「検定試験」受験に備える講習会)

1級(学科)	日程	平成21年6月2日～4日 } (6日間) 平成21年6月9日～11日 }
	会場	高知市
	受講料	会員：46,000円・一般：50,000円
	再受講者割引	(H19～20年度当講習会参加者) 会員：36,000円・一般：40,000円

1級(実地)	日程	平成21年9月1日～2日(2日間)
	会場	高知市
	受講料	会員：20,000円・一般：24,000円
	再受講者割引	(H20年度当講習会参加者) 会員：18,000円・一般：22,000円

2級	日程	平成21年9月15日～17日(3日間)
	会場	高知市
	受講料	会員：31,000円・一般：35,000円
	再受講者割引	(H19～20年度当講習会参加者)

